

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和2年3月18日(木) 午前10時25分
閉会日	令和2年3月18日(木) 午後2時54分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 木村さゆり 副委員長 山田かずひこ 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 伊藤祐司 大島令子 岡崎つよし 川合保生 ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ なかじま和代 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長 飯島 淳 財政課長 嗟峨 剛 課長補佐 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計5人</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 加藤和男 議会事務局長 水野敬久 議事係長 吉田菜穂子
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言

議長 あいさつ

市長 あいさつ

委員長 議案第 34 号について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 4 億 2,771 万 5,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 213 億 9,640 万 8,000 円とする。歳入では、地方特例交付金、市債及び国庫支出金の増額並びに繰入金の減額、歳出では教育費及び総務費の増額である。

また、小学校情報通信整備事業及び中学校情報通信整備事業の 2 億 1,607 万 2,000 円を令和 2 年度に繰り越して使用する。なお、小中学校情報通信整備事業の地方債を 1 億 5,380 万円追加する。

9 款教育費、2 項小学校費、1 目の学校管理費で、1 億 4,779 万円を増額する。各小学校運営事業に情報通信整備事業として、情報通信ネットワーク整備工事費と、工事監理委託費をそれぞれ予算計上している。文部科学省が進めている「GIGA スクール構想の実現」に向けて、小中学校の児童生徒に 1 人 1 台パソコンを整備するための環境整備に係る予算計上で、校内 LAN などの通信ネットワークを整備し、1 人 1 台の端末に耐えうる環境を整備する。

3 項中学校費の 1 目学校管理費で、6,828 万 2,000 円を増額する。小学校と同様に、各中学校においても 1 人 1 台端末に対応するための環境整備を行うため、情報通信ネットワークの整備工費と管理委託費を計上している。

2 款総務費、1 項総務管理費、2 目財産管理費の 2 億 1,164 万 3,000 円を増額について、歳入予算が歳出予算を大きく上回る歳入超過となる見込みであったことから、超過分を財政調整基金に積み立てる。

歳入について、9 款地方特例交付金、2 項子ども子育て支援臨時交付金として、2 億 7,527 万円を新たに予算計上する。幼児教育・保育無償化に伴う保護者負担分について、今年度は本市の負担分を全額国が補填することになっていて、その額が確定したことから、今回新たに予算計上する。

14 款国庫支出金、2 項国庫補助金の情報通信ネットワーク整備

費補助金の6,138万円及び21款市債の1億5,380万円の増額について、G I G Aスクールの環境整備に係る費用に対し、国庫補助金と地方債を財源として充てるため予算計上する。

18款繰入金、1項基金繰入金の6,273万5,000円の減額について、今回歳入では子ども子育て支援臨時交付金やG I G Aスクールに係る国庫補助金や地方債の借り入れなどの大きな額の予算計上があるが、歳出はG I G Aスクールの関係の予算計上のみで、歳入超過となることから、当初予算で予算計上していた財政調整基金繰入金の6,273万5,000円を取りやめるための減額補正である。この減額により、令和元年度当初予算で財源補填のため、4億円を計上していた財政調整基金繰入金は無しとなる。

委員長 本委員会に付託された議案1件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 この際、暫時休憩する。

<休憩：午前10時32分>

<再開：午後2時40分>

委員長 休憩前に引き続き、会議を開く。

委員長 本日、各分科会に送付した議案1件について分科会長の報告を求める。

総務くらし建設分科会長

審査経過の報告

議案第34号（総務くらし建設分科会送付分）

※審査経過の詳細は[予算決算委員会総務くらし建設分科会会議録参照](#)

総務くらし建設分科会長報告に対する質疑 なし

教育福祉分科会長

審査経過の報告

議案第34号（教育福祉分科会送付分）

※審査経過の詳細は[予算決算委員会教育福祉分科会会議録参照](#)
教育福祉分科会長報告に対する質疑 なし

議案第 34 号令和元年度長久手市一般会計補正予算（第 7 号）

討論

反対討論

わたなべ委員 教職員は長時間勤務で深刻な現状である。その上、変形労働時間制が導入されようとしている。まずは子どもと向き合う時間を保証する多忙化解消や少人数学級の推進こそが必要である。公教育への企業参入を進め、集团的学びの軽視、画一化となるGIGAスクール構想には賛成できない。

賛成討論 なし

反対討論

さとう委員 GIGAスクール構想については、当初、国庫補助金が2分の1という前提であったが、急遽3分の1以下に減らされ、その分を市債で負担しなければならなくなった。令和2年度から令和5年度までに小中学生全員に1台4万5,000円のパソコンを購入するという事で令和2年度は、小学校5、6年生、中学校1年生分を購入することになっているが、令和2年度当初予算にはパソコン購入費が計上されていない。このように計画性の乏しい状況で、進めていくことには問題があると考えます。

賛成討論 なし

反対討論 なし

採決

賛成多数により、原案のとおり可決

委員長 以上で討論採決を終了する。

委員長 委員長報告の作成は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午後 2 時 54 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和2年3月18日

予算決算委員会委員長 木村さゆり